

1. 誌上発表

- (1) 福井県におけるクレチン症マスキングの実施状況
ー23年間 (1980～2002年度) の実施状況ー
日本マス・スクリーニング学会誌、13巻、3号、33 - 40 (2003)
丸山励治・松井利夫・重松陽介
- (2) ベイズ推定を用いた保健指標の構築に関する研究
ー三大死因における市町村別SMRとベイズ推定SMRによる疾病地図ー
北陸公衆衛生学会誌 第29巻 第1号 22-32頁、2002年
松井利夫・中村雅子
- (3) Standardization Approach (年齢調整化手法) による出生動向の解析
ー過去45年間における北陸3県の出生状況を例としてー
北陸公衆衛生学会誌 第29巻 第1号 41-45頁、2002年
松井利夫・蓮川 貢
- (4) 福井県における結核状況について ー年次推移と地域較差ー
北陸公衆衛生学会誌 第30巻 第1号 28-33頁、2003年
松井利夫・波田野基一・菊岡修一・仲井公秀・河原和夫
- (5) 中国浙江省におけるカドミウム汚染の衛生学的環境学的調査
北陸公衆衛生学会誌 第30巻 第1号 1-5頁、2003年
金 鋒・松井利夫・西条旨子
- (6) 福井県の子宮頸がん集団検診の前期 (1974～1983年)
(および後期 (1984～1993年) の成績評価)
日本公衆衛生学雑誌 第50巻 第7号 594-604頁、2003年
飯田和質・森下陽子・正通寛治・松井利夫

2. 学会発表

- (1) 福井県における死因別死亡の地域特性の分析
第31回北陸公衆衛生学会 (平成15年10月、金沢市)
佐澤恵美子・松本和男
- (2) 市販の牛内臓からのSTEC O157検出状況およびヒト由来株との関連性
平成15年度食品衛生監視員協議会東海北陸ブロック研修会 (平成15年8月、岐阜市)
石畝 史・前田央子・京田芳人・堀川武夫・浅田恒夫
- (3) 高率に多剤耐性を示す散発下痢症患者由来大腸菌O153について
第8回腸管出血性大腸菌感染症シンポジウム (平成16年3月、東京都)
石畝 史・前田央子・京田芳人・堀川武夫・山崎 貢
田中大祐・磯部順子・隈元星子・森屋一雄
- (4) ライム病ボレリアの世界分布ー日本および東アジアを中心に
ダニと患者のインターフェースに関するセミナー第11回大会 (平成15年9月、軽井沢)
石畝 史
- (5) 中部地方よりも東北でライム病発生が少ない理由を考える
第58回日本衛生動物学会西日本支部大会 (平成15年10月、金沢市)
高田伸弘・石畝 史・矢野泰弘
- (6) 南西諸島のマダニ相とライム病関連ボレリアの概況
第12回日本ダニ学会 (平成15年10月、那覇市)
高田伸弘・石畝 史・藤田博己・矢野泰弘
- (7) A型およびB型インフルエンザ混合流行シーズンの学校での集団発生状況
第36回北陸信越薬剤師学術大会 (平成15年11月、金沢市)
中村雅子・東方美保・川畑光政・堀川武夫

- (8) 福井県におけるエコーウイルス13型による無菌性髄膜炎の流行および住民抗体保有状況
衛生微生物技術協議会第24回研究会 (平成15年7月、福岡市)
東方美保・中村雅子・浅田恒夫・松本和男・堀川武夫
- (9) 都市部中小河川におけるダイオキシン類組成の特徴について
ー特異的な異性体組成と分析上の問題点ー
第30回環境保全・公害防止研究発表会 (平成15年10月、徳島市)
熊谷宏之
- (10) 第Ⅷ族金属の超微細粒子によるヒト白血球でのIL-1 β とIL-10の産生
第74回 日本衛生学会総会 (平成16年3月、東京都)
村岡道夫・佐藤一博・日下幸則
- (11) 福井県内の地下水汚染の状況と地域特性について
第18回全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部 支部研究会 (平成16年
2月、和歌山市)
坊 栄二

3. 所内研究発表会

- (1) 水生生物生息調査について 松永浩美
- (2) サルモネラ食中毒由来株と散発患者由来株との比較 前田央子
- (3) PCR-RFLP法によるアデノウイルスの検出 中村雅子
- (4) 食品、母乳中のダイオキシン類濃度調査結果について (平成14年度分) 藤井幸雄
- (5) 敦賀市民間最終処分場に係る水質の現状 田中宏和
- (6) 食品中の残留農薬分析について(アセトニトリル抽出/
ミニカラム精製による分析) 小木圭子
- (7) 12年ぶりの光化学スモッグ注意報発令に係る要因について 山田克則